

## ★申請方法について

### ステップ ① 申請したいと思ったら・・・

まずは、先生や事務職員さんに相談してみましょう。本事業は、大学等の教職員が団体の代表者である必要があります。  
 加えて、第2期岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略を読むことをお勧めします。  
 また、事業実施の背景や地域のニーズ等について、できる限り、地域の方や関係する行政機関等の意見を聞いてください。  
 自分がやりたいことをするのは大事なことです、地域の方の思いも反映されるような取組となるように考えてみてください。

### ステップ ② 申請書を書いてみよう！



本事業に係る要綱及び申請書の様式等は、右のQRコードから岡山市HPにアクセスしてダウンロードできます。(https://www.city.okayama.jp/shisei/0000027917.html)

#### 記入のポイント

- 審査基準をチェックしよう！
- ステップ①で地域の方等に意見を聞いていたら、そのことも記載しよう！
- 協働する相手が見つからない場合は、ステップ③で相談してみましょう。  
協働する相手を見つけるために協力します。

### ステップ ③ 困ったら相談しよう！

募集期間中は、随時、申請相談を受け付けます。活動内容や協働する相手など、お困りの点について、ご相談ください。  
 なお、相談にあたっては、申請書(未完成の状態でも構いません)を下記問い合わせ先までメールでご提出ください。

### ステップ ④ 申請しよう！

募集期間内に申請書類を提出してください。

募集期間	令和4年4月28日(木)～5月31日(火) ※郵送の場合は同日必着、持参の場合は午後5時必着
提出物	申請書類 5部 ※参考資料がある場合それらも5部
提出方法	下記問い合わせ先へ郵送又は持参にて提出 ※メール、FAX等での提出は受付できません。

#### 問い合わせ先

岡山市政策局政策企画課(学生イノベーションチャレンジ推進事業担当)  
 TEL:086-803-1043 / FAX:086-803-1732  
 (※土・日・祝日を除く 8:30~17:15)  
 Mail: seisakukikaku@city.okayama.lg.jp  
 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1

令和4年度

# 学生イノベーションチャレンジ 推進プロジェクト 学生ソログループ部門

募集期間

令和4年

4月28日(木)～5月31日(火)



<本事業への寄附企業>長瀬産業(株) ベストセレクション(株)  
 ※国の地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)を通じて、令和3年度に寄附をいただきました。

## ★「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」について

学生をはじめ若者の存在は地域に活力をもたらしています。地域づくりの次代を担う人材が地域に住み続け、活躍するまちづくりを進めていく必要があります。

岡山市では、大学生等が企業や地域、NPO等と協働して、若者ならではの柔軟なアイデアの提案・実践によって地域課題を解決する活動や、大学等で学んだスキルを活用して小規模ビジネスの実現に取り組む活動に対し、補助金を交付して支援する「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」を実施します。

## ★学生ソログループ部門の対象団体・申込・活動等

<対象団体>

岡山市内の大学・短期大学・専門学校及び岡山市と包括的な連携協力に関する協定を締結している岡山市外の大学・短期大学の、教職員を代表者とした参加学生3名以上で構成されている団体・グループ。

<申込>

在籍する大学等の感染対策ガイドラインに則って、本事業に申し込んでいただきます。

コース	概要	取組例
ソーシャルビジネスチャレンジ	行政機関、企業、NPO及び地域団体等と協働し、岡山市内における地域課題の解決や地域活性化を図る事業	○人、地域、社会、地球環境に配慮した消費につながる商品開発 ○ダンスを通じて防災の心構えを普及 ○商店街振興 ○岡山連携中枢都市圏の特定課題（※1）
スモールビジネスチャレンジ	収入計画を策定した上で、新たな商品やサービス等の開発、販売等の小規模ビジネスの実現を目指す事業	○地域特産品がもつ商品力の向上と販売促進 ○学生のスキルを活用したシェアリングエコノミー型サービスの開発

<（※1）岡山連携中枢都市圏の特定課題とは>

・今年度から、岡山市内での活動に加え、別紙「岡山連携中枢都市圏の特定課題一覧」に掲載している活動についても対象とします。

※岡山連携中枢都市圏とは、岡山市と社会的、経済的に一体性を有する近隣市町村（8市5町）とで形成する都市圏のことであり、本事業の対象は、「備前市」「真庭市」「久米南町」「吉備中央町」です。

<新型コロナウイルス感染症に対する対応について>

学生は、岡山市の感染症対策ガイドライン及び岡山県の要請に従うとともに、適切な行動を心がけてください。感染対策を遵守していない場合は、グループ活動の停止又は中止を検討します。

※今後の感染状況によっては、オンラインでの活動に変更する場合があります。

「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」は、  
地域貢献を通じて、社会が求める『実践力・実践知』を  
鍛える絶好の機会です！

## ★補助金額・採択件数

上限 **30**万円（補助率 **10/10**以内）

採択件数 **15**件程度（予定）

## ★補助金の対象経費について

補助金は大学、短期大学、専門学校に交付します。

### 補助金の対象となる経費

- ・交通費、宿泊費（活動先への移動にかかる費用など）
  - ・通信運搬費
  - ・印刷製本費（資料などのコピー代、チラシの作成費など）
  - ・保険料（活動に際して加入する保険料）
  - ・諸謝金（講師や外部協力者に対する謝金など）
  - ・使用料及び賃借料
  - ・消耗品費、備品購入費（※1）など
- （※1）リースで補えるもの（パソコン、プリンタ、机、椅子等）については、備品購入の対象外となります。

### 補助金の対象とならない経費

- ・各団体の運営のために支出する経費
- ・事務処理にかかる間接経費
- ・食糧費
- ・人件費など

## ★審査基準について

下記の審査基準に基づいて申請書類を採点し、審査を行います。

審査項目	審査基準	ソーシャル	スモール
活動のコース	活動の目的が、対象地域にとって必要性・重要性の高いものか。	必須	必須
効果	目的に対する効果が期待できる活動内容となっているか。	必須	必須
協働の深さ	学生と地域の双方が主体的に活動に関わることが出来るか。協働を通じた相乗効果が発揮されているか。	必須	加点
モデル性・将来性	学生と地域の連携モデルとして、他地域へ参考となる活動か。活動内容の深化や拡大、発展などが期待できるか。	必須	必須
アイデア・チャレンジ性	独創性やチャレンジ性のある活動か。	必須	必須
収支予算の適切さ	適切な収入・経費で予算を立てているか。	必須	必須
財源の獲得	事業に必要な財源について、補助金以外の獲得手段を計画しているか。	加点	必須

## ★スケジュールについて

- ① 申請受付： 5月31日まで随時受付
- ② 補助金交付決定： 6月上旬から随時審査して決定
- ③ 活動期間： 補助金交付決定～活動報告会  
※SNS等を活用した情報発信にも積極的に取り組んでください。
- ④ 中間報告会： 10月下旬
- ⑤ 活動報告会： 2月中旬
- ⑥ 実績報告書の提出： 2月末  
※活動報告会では、優良事例の表彰も併せて行います。